

令和7年3月吉日

学校法人 YIC 学院
北九州調理製菓専門学校
校長 須内章雅 様

学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会
委員長 日野 辰彦

令和6年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 開催日時 令和7年3月26日 午後3時～午後4時00分

2 場 所 北九州調理製菓専門学校 2階レストラン KC

3 参加者 8名

学校関係者評価委員

日野 辰彦

末永 聡史

永井 秀憲

中田 薫

元職員

企業関係者

卒業生

業界関係

国会議員秘書

飲食店経営

料亭調理師

司厨士協会北九州支部統括委員長

学校教員等

須内 章雅

高柳 直美

保坂 圭二

久賀菜穂子

校 長

副 校 長

実習部長

事 務 長

実施方法 学校自己評価報告書を基に、(1)～(10)の評価項目ごとに説明と取り組みを聞き評価を行った。

なお、項目の評価は次の4段階で行った。

4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切

評価結果・評価理由・助言について

(1) 教育理念・目的・育成人材像

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

3

- ① 学校の理念・目的・育成人材像は明確に定められているか。・・・(4)
- ② ①は学生・保護者等に周知されているか。・・・(3)
- ③ ①は学生・保護者・調理製菓業界等の社会的ニーズに適合しているか。・・・(3)

評価理由等

- ・学生・保護者には入学説明会等において周知を行ったが、日々の徹底がやや不十分。
- ・理念・目的・育成像は明確に定めているが、学生の意識が変化しているため適合していないという面もある。
- ・半世紀を超える学校にあっても色あせない理念等は素晴らしい、目標・理念等に伝えやすい標語があり、周知に有用であると感じた。
- ・周知されていると思う。結果として退学者が減っている。
- ・時代が変わっても不易と流行については揺るがないようにするとよい。

(2) 学校運営

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

3

- ① 運営方針・事業計画・予算を適正な手続きで決定しているか。・・・(4)
- ② 運営方針・事業計画を文章化し、教職員に周知・徹底しているか。・・・(3)
- ③ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。・・・(3)
- ④ 学校運営組織を整備し、適正に運営しているか。・・・(3)
- ⑤ 意志決定システムを整備し、適正に運用しているか。・・・(3)

評価理由等

- ・YIC グループの運営方針、アメーバミーティング等でしっかりと教職員に周知され計画、運営されている。
- ・予算・収支計画については検討の余地がある。
- ・概ね適正であると思うが、予算・収支計画についてはより多くの情報が欲しい。
- ・物価上昇に対応した計画の必要がある。

(3) 教育活動

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

2

- ① 教育理念・目的に沿った教育課程の編成・実施方針を定めているか。・・・(4)

- ② 教育課程は教職員によって、的確に実施されているか。・・・(4)
- ③ シラバスの作成などによって、授業内容・計画・目標及び評価基準等は明示されているか。・・・(3)
- ④ 成績評価、単位認定、進級・卒業判定の基準を明確に定め、適正に運用しているか。・・・(4)
- ⑤ 授業評価の実施体制を整備し、実施しているか。・・・(2)
- ⑥ を通じて、カリキュラム・授業改善は適切にすすめられているか。・・・(3)
- ⑦ 教育目標の実現に向けた教職員は確保されているか・・・(2)
- ⑧ 教職員の資質（専門性・指導力等）向上に向けた研修が適切に計画・実施されているか。・・・(2)

評価理由等

- ・教育課程の編成等は理念に沿って定められているが、教員としての経験が少ない為指導体制、内容等を共通理解していく必要がある。
- ・研修の機会を工夫して増やし、教職員の資質向上に取り組む必要がある。
- ・教職員の調理や教育現場の研修を取り入れるとよい。
- ・教職員の出入りがあり、目標の共有等が明確にできなかった面がある。
- ・共有する内容の資料としての整備が必要。共通理解のための方法を検討する。

(4) 学修成果

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

3

- ①就職率を向上させるための施策は図られているか。・・・(3)
- ② 退学者を減らすための施策は図られているか。・・・(3)
- ③ 学生が身につけるべき資質・能力（知識・技能等）は明確化されているか。・・・(4)
- ④ ③の向上にむけて、その実現度合いを把握し、教育活動等の改善をすすめているか。・・・(3)
- ⑤ 卒業生・在校生の社会的活躍及び社会的（就職先等での）評価を把握しているか。・・・(3)
- ⑥⑤を踏まえて、教育活動等の改善を進めているか。・・・(3)

評価理由等

- ・学生の就職に対する意識が低かった。面談等を活用して後半には就職率も高まった。
- ・さまざまな事情のある退学者を減らすため、察知、面談、サポートが必要と感じる。
- ・最終的な就職率はよい。退学者も少ない。
- ・就職への意識づけを早期に取り組む。

(5) 学生支援

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

4

- ① 就職等進路決定に対する支援体制は整っているか。・・・(3)

- ② 学生の心身の健康維持・管理は適正に行われているか。・・・(3)
- ③ 学生への経済支援体制は整っているか。・・・(4)
- ④ 学生の課外活動に対する支援体制は整備されているか。・・・(3)
- ⑤ 保証人との連携は適切に行われているか。・・・(4)
- ⑥ 卒業生への支援体制は整っているか。・・・(3)

評価理由等

- ・教職員の評価で3以上が100%である
- ・教職員は親身になって面談等を行っている。
- ・授業料の分割納入や遠隔地の通学費補助などを行っている。

(6) 教育環境

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

3

- ①施設・設備はカリキュラムに対応した適正なものになっているか。・・・(2)
- ②施設・設備は安全・衛生面で適正なものになっているか。・・・(3)
- ④ 企業等との連携により、実習・インターシップの場等の教育体制は整備されているか。・・・(3)
- ④防災・安全管理体制を整備し、適切に運営しているか。・・・(4)

評価理由等

- ・老朽化等による実習設備等への不備があるが、年度ごと少しずつ更新している。
- ・2階レストランのリニューアルが行われた。学びやすい環境になった。
- ・安全管理体制は適切に運営されている。

(7) 学生の受け入れ募集

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

3

- ①入学者の募集活動を適正かつ効果的に実施しているか。・・・(4)
- ②選考時期・選考基準・選考方法は適切なものになっているか。・・・(3)
- ③校納金（入学金・諸経費・学費など）等は適切か。・・・(3)

評価理由等

- ・広報・募集活動は適正に行ってきている。次年度入学者数を増加させることができた。
- ・まだ目標とする入学者数には到達していない。
- ・年度による増減はあるが、少子化の中、十分に努力がなされている。
- ・校納金等は2026年度から改訂する予定である。
- ・学生の学びの質を確保するためには校納金等の改定は必要。

(8) 法令等の遵守

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

4

- ①適正な学校運営を行うに当たり、法令や学校設置基準を遵守しているか。・・・(4)
- ②個人情報の保護のための対策は適正に講じられているか。・・・(4)
- ③学校自己評価を実施・公表し、学校改善をすすめているか。・・・(3)
- ④学校関係者評価を実施・公表し、学校改善をすすめているか。・・・(3)

評価理由等

- ・法令の遵守、個人情報の管理等は適切に実施している。
- ・学校自己評価、学校関係者評価の結果を学校改善に活かしていく必要がある。

(9) 社会貢献・地域貢献

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

3

- ①学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。・・・(4)
- ②学生・職員によるボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。・・・(3)

評価理由等

- ・北九州市は食のブランドを発信しようとしている。今後、行政・調理関係・団体・企業等と連携できればと思う。
- ・イベント等への参加は積極的に行っており、貢献できていると思う。
- ・就職後も地域との関りが大きい職種であるので、より積極的に地域と関わる活動をすべきである。
- ・ボランティア活動については、積極的にはまだ実施できていない。

(10) 財務

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

3

- ①学校及び法人運営の中長期的な財政基盤は安定しているか。・・・(3)
- ②財政について、法律等に乗っ取り適正に監査が実施されているか。・・・(4)
- ③財務情報は適切に公開されているか。・・・(4)

評価理由等

- ・適切に実施している。
- ・来年度以上に入学者数を増やして財政基盤を安定させたい。